

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
1	男 50代	原発性胆汁性 肝硬変 (発作性心房 細動)	7.5g 3,596日	静脈硬化性大腸炎		
				発現約 10 年前	原発性胆汁性肝硬変のため本剤投与開始	
				発現日	右側腹部痛と右下腹部に違和感を感じていたが、放置	
				発現 3 日後	昼食後から右下腹部にちくちくとした持続痛を感じるようになった。夕方、痛み増強し近医受診、鎮痛剤と下剤処方され帰宅。その後痛み増強し、夜間救急受診。同日入院。内科にて静脈硬化性大腸炎と診断	
				発現 5 日後	外科転科	
				発現 15 日後	静脈硬化性大腸炎に対し、結腸亜全摘術施行	
				発現 24 日後	全抜糸	
				発現 35 日後	本剤投与中止	
		(投与中止日)				
		中止 2 日後	退院			
臨床検査値						
		発現 5 日後	発現 16 日後	発現 22 日後	投与中止日	投与中止 30 日後
RBC (104cells/mm3)		455	397	311	377	387
Hb (g/dL)		14.3	12.4	9.8	11.5	11.5
Ht (%)			41.8	36.1	28.6	34.2
WBC (cells/mm3)		23,600	18,100	9,200	8,700	4,300
CRP (mg/dL)		28.0	15.5	10.0	1.3	1.0
T-Bil (mg/dL)		5.0	2.2	1.4	0.7	0.8
D-Bil (mg/dL)		3.5	1.5	1.0	0.4	0.4
併用薬：併用薬：肝臓加水分解物配合剤，ポリエノスファチジルコリン，ウルソデオキシコール酸，ベザフィブラート，イトプリド塩酸塩，ファモチジン，ジアスターゼ配合剤（1），ビフィズス菌製剤（4），アテノロール，フレカイニド酢酸塩，レボフロキサシン水和物						